

土地の人は  
なぜそこが  
「はけ」と  
呼ばれるのかを  
知らない。

# 「心」と「風景」が変わる場所

大岡昇平が描いた「はけ」



2019.2.16

14:00～16:00

(ティータイムを含む)

定員15名 / 要申し込み

場所/小金井市立はけの森美術館2F 多目的講義室

会費/1000円 (musashinoはけの森カフェの焼き菓子とお茶付)

土地の人はなぜそこが「はけ」と呼ばれるのかを知らない――。

武蔵野の一隅の地名の俗称に過ぎなかった「はけ」は、  
この一節によって広く世間に知られることになりました。

しかし残念ながら、

その一文をもって始まる『武蔵野夫人』という小説が今日手に取られる機会は、

その舞台となった小金井にあっても稀になっています。

戦後文学の巨人であった大岡昇平の代表作の一つ『武蔵野夫人』は、

たんに小金井の「ご当地小説」であるばかりでなく、

作家が10カ月の小金井滞在中で得た武蔵野の風景と人々の印象、

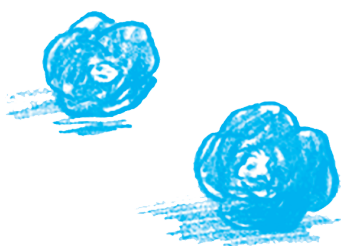
西洋と日本の近代文学のエッセンス、

そして作家自身の戦地での過酷な経験といった素材を

独自の文体によって織り込んだアラベスクのような小説です。

この文学作品の複雑にして豊潤な魅力の一端をご紹介します、

心と風景、物語と自然が交わる場所としての「はけ」について考えていきます。



#### 【講師】二階堂 尚 にかいどう・しょう

ライター／NPO アートフル・アクション理事

1971年福島県生まれ。早稲田大学第一文学部卒。出版社での編集業務などを経てフリーライターとなる。2010年より小金井市在住。17年より小金井を舞台にした創作民話のシリーズ『夜がほんとうに暗かったころ』（現在第3巻まで発行）を執筆している。



お申し込み  
お問い合わせ

必要項目（お名前、ご住所、電話番号、メールアドレス）を、  
メール、ファックスにてNPO 法人アートフル・アクションまでご連絡ください。  
応募締切 2019年2月10日（日）

送付先・連絡先 NPO 法人アートフル・アクション  
〒184-0004 東京都小金井市本町6-5-3 シャトー小金井2階  
TEL/FAX: 050-3627-9531  
E-mail: mail@artfullaction.net  
\*はけの森美術館は展示替え、メンテナンスのため休館中です。

◎プログラムは変更になる可能性があります。最新の情報はアートフル・アクションのホームページでお知らせします。

